

いま中国にどう向き合うか

～全三回～

第一回

天 兎 慧 氏

あまこ

さとし

早稲田大学大学院 教授



Moderator

加藤 千洋

グローバル・スタディーズ研究科教授



共通利益の最大化を目指す「戦略的互惠関係」を約束した日中関係だが、尖閣事件をきっかけにその枠組みは揺らぎ、双方の国民感情も冷え込んでしまった。だが経済規模で今年日本を上回る中国は、私たちにとってはますます重要な隣人である。いま「台頭する中国」に私たちはどのような姿勢で、どのような車間距離で向き合ったらいいのか。中国政治研究の第一人者、元中国大使、中国経済の3人の専門家を迎えて考えたい。初回はジャーナリズムでも積極的に発言している天兎慧氏を迎える。

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： **12月16日(木)**

18:30-20:00

会場： **神学館礼拝堂**

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp